

功績賞をいただいて

元・山形大学農学部附属演習林教授

現・山形大学名誉教授 塚原 初男



仙台市で開催された 2010 年度の全国大会に、
図らずも表記の受賞案内を戴きました。突然の吉
報でしたので、当日だけでも出席したいと思いま
しましたが、前年から予定されてあった国際ロータ
リー関係の日程と重複し、叶いませんでした。そ
のため、大会実行委員を兼ねる日本地下水開発
(株)の山谷 睦(部長補佐)氏に、受け取り役を
代っていただきました。同氏は、岩手連大博士課
程在学当時、自分が主指導教官役を務めたこと、
受賞対象とされる豪雪地の森林雪害研究につい
て、少なからず苦楽を共にしていること、山形大
学の特色づくりとして起こした自分の新しいカリ
キュラム「森林雪氷学・農学部選択 2 単位」、「森
林雪氷学実験実習・農学部選択 1 単位」、「雪山実
習・全学選択 1 単位」をいつも快く手伝ってくれ
ていたこと、などの気安さもあったからでした。

森林雪害の研究教育では、旧林学科の須藤昭二
教授、大谷博弥助教授(現・準教授)、元・附属演
習林職員の保坂良悦、佐藤八重治、上野清隆、遠
藤文子、阿部新一、上野 斉の各氏に、いろいろ
とお世話になりました。また、森林雪害の農学部
内共同研究では、旧林学科の北村昌美教授(現・
山形大学名誉教授)、元・附属演習林の遠藤治郎
教授(後に新潟大学農学部教授)、元・農業工学科
の飯田俊彰助教授(後に東京大学準教授)、元・農
芸化学科の上木勝司教授(現・山形大学名誉教
授)、現・農学部の高橋教夫教授、野堀嘉裕教授
に、大変お世話になりました。学内共同研究では、
科研費関係で阿部正二郎教授、矢野勝俊教授、柳
沢文孝教授にお世話になりました。学外共同研究
では、これも科研費関係で、北大低温科学研究所
の黒岩大助先生、藤岡茂先生、秋田谷英次先生、
福島大学の渡辺善八先生、渡辺 明先生、弘前大
学の佐藤幸三郎先生(後に青森大学)、佐藤清一先

生にお世話になりました。

現役 30 年間の主な研究内容は、1 冬季の最大斜
面雪圧から、その年次の林木の根株引き抜き抵抗
力(=根張り強度)を差し引いた値を求め、これ
を植栽年から成林するまで積算した値が大きけれ
ば大きいほど、林木の根元曲がり大きいこと、
根株引き抜き抵抗力は樹種による違いがあるこ
と、凹型斜面形は雪圧が大きく、土壌が過湿にな
りやすいため、過湿抵抗性の小さい樹種は林木の
根系発達が悪く、根株引き抜き抵抗力が劣り、雪
圧害を受けやすいこと、酸性雨によっても林木の
根系発達は損なわれやすいが、降雪による酸性降
下物質の沈着は必ずしも一様ではなく、局地的な
集中沈着が起る場合があること、などです。

樹木も同じですが、雪は 1 つ調べれば 1 つ答え
を出してくれます。しかし、それと同時に、少な
くとも 1 つ以上、更に新しい問題を出して来ま
す。雪は不尽の教材である、といえるでしょう。

この間、雪氷学それ自体については、現・(独)
防災科学技術研究所雪氷防災研究センター新庄支
所の中村 勉先生(後に岩手大学教授)、木村忠志
氏、中村秀臣氏、東浦将夫先生(後に東北文科大学
教授)、沼野夏生先生(後に東北工業大学教授)、
佐藤篤司氏、佐藤 威氏、阿部 修氏、小杉健二
氏に多くをご教示いただきました。雪の事は新庄
に聞け、これが農学部教員の合言葉でしたし、現
在も続いていると思っています。また、現役終盤
の 15 年間と定年退職 11 年目現在までの 25 年間
は、N-PSG 工法研究会(N は故・西村 敏氏の頭
文字。PSG は Prevention of Snow Glide の頭文
字で雪崩防止の意、中村勉先生命名)の皆さんと
一緒に、人工法面の緑化や全層雪崩防止の工法開
発について研究を続けています。

受賞対象とされた学会運営関係では、2 期 5 年

間にわたる東北支部長をはじめ、社団法人化前後の計 10 年間にわたる理事，うち 1 期 2 年間に副会長として務めさせていただきました。特に東北支部運営では、上述の先生方をはじめ、岩手大学の平山健一先生（後に岩手大学長）、国立秋田高専の伊藤曉先生（後に東北支部長）、弘前大学の力石國男先生（現・東北支部長）、関係者の皆さんに、多大なご協力をいただきました。8 年前に開催された山形大会の大会委員長を担当した全国大会では、桂木公平氏、安彦宏人氏、沼澤喜一氏をはじめ日本地下水開発(株)、支部役員、関係者の皆さん、地元山形県及び山形市より格別なご協力をいただきました。

この度の受賞は、以上の多くの皆さんからの助力添えのお陰です。当紙面をお借りして心から感

謝し、厚くお礼申し上げます。

なお、先の東北支部 25 周年記念総会において、上記 N-PSG 工法研究会は支部より感謝状を戴きました。この研究会は東北支部の創立と同年度の発足です。研究会の会長役は、25 年前の発足当初から自分が担当してきたこともあって、去る 11 月 17 日、共に喜びを分かち合う会が、研究会の金子善彦理事長ら理事主催で開かれました。当紙面をお借りして、ご出席の皆さんにお礼申し上げます。

最後になりましたが、(社)日本雪氷学会の益々の発展を祈念し、この度の受賞にたいする謝辞とさせていただきます。

有難うございました。